



議場を見学する松野小学校3年生の皆さん（7月10日）

9月定例会

19年度決算認定ほか

全17議案を可決

報告

市議会9月定例会は、9月9日から26日まで開催しました。一般質問では、会派代表質問の4人を含む13人が登壇。物価高騰対策など、市民生活にかかる問題を含め市政の在り方をただしました（7～19参照）。また、今回の定例会では、決算特別委員会を設置し、平成19年度一般会計など各種会計の決算を審査したほか、住民基本台帳カード交付手数料の無料化や柏台出張所廃止に関する議案など17議案を審議し、全議案を原案のとおり可決しました。

◎八幡平市産業振興株式会社の経営状況報告について

第三セクターの八幡平市

産業振興株式会社の平成19年度経営状況を報告したものです（3ページの表1参照）。

なお、八幡平市産業振興株式会社は、3月1日付で第三セクターの4社が合併して誕生。存続会社は八幡平温泉開発株式会社です。

問 株式会社エコワに手付金だけで施設を引き渡す契約に至った理由は何か。一般的には、代金を全額受領し、物件を引き渡すのが一般的な取引ではないか。

答 契約書では、契約時に1000万円を納付していなくなり約定を設け、契約どおりに納付していただいた。全額という指摘であるが、資金手当てを株式上場を行う構想だったが、金融不安で株の下落などによる金融

の引き締めにより、手当てができなかつた経緯である。契約破棄に伴う違約金の請求など、法的手続きは、弁護士に任せている。

全会一致で可決

◎固定資産評価委員会の委員の選任に関し同意を求めるについて

10月26日で任期満了の日

戸久雄氏（大更）、古川勝雄氏（松尾）、田鎖義栄氏（清水）を、再び委員に任命しようとするものです。

◎教育委員会の委員の任命に関し同意を求ることについて

11月14日付で任期満了の田村善男氏（堀切）を再び教育委員会の委員に任命しようとするものです。

◎八幡平市手数料条例の一部を改正する条例

住民基本台帳カードの交

付手数料を、10月1日から平成23年3月31日まで無料にしようとするものです。

八幡平市行政組織条例及び八幡平市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例

柏台出張所を9月30日で廃止しようとするものです。出張所廃止は地域の振興に深くかかわる役割を持っている立場から、廃止すべきでないと思うが、補正予算で要求している行政事務連絡員は、代替措置として考えているものか。

答 出張所廃止に当たり、松尾歴史民俗資料館による行政事務連絡員の計3人体制で柏台、金沢地区の住民対応を行う予定である。

大更地区コミュニティセンター建設工事（建築）の請負契約の締結に関し議決を求ることについて

現在の大更公民館隣に建設予定の工事契約を、株式会社遠忠・小野寺工務所特定建設工事共同企業体と締結しようとするものです。建物は木造平屋、延べ床面積は1124平方メートル（340坪）で、契約金額は2億2890万円。工期は平成21年7月31日までです。

賛成多数で可決

○平成20年度八幡平市一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれに5億3990万8000円を追加しようとするとするので、主な内容は次のとおりです。

▼ 庁舎整備基金積立金2億円

▼ 財政調整基金積立金2億1000万円

▼ 補装具費支給費300万円

▼ 緊急用メール配信システムソフトウェア購入費19万4000円

▼ 柏台小学校、安代中学校屋内運動場耐震診断調査業務委託料556万9000円

▼ 松尾地区コミュニティーセンター計画設計競技報償費200万円
▼ 弁当保温庫購入費20万9000円

問 河川障害物除去作業委託の内容は。

答 安代地区の安比川と米代川、松尾地区の長川、西

根地区的涼川で、県からの委託を受け、状況把握に努めている。涼川の障害物が非常に多く、今回の補正で増額変更するものである。

緊急用メール配信システムのソフトウェア設置に関する伺う。

答 6月の児童連れ去り事案発生を受け、学校と保護者間の情報伝達方法として、携帯電話を学校からの連絡

答 生活保護費の返還金については、所得が後で判明するなどの案件があり、ケース会議で協議し返還金をいたぐ状況下である。

問 生活保護費の途中返還の中身を伺う。



お互いの息を合わせて踊る子どもたち（7月12日、大更ガーデンフェスティバル）

表1 第三セクターの経営状況

区分	18年度実績	19年度実績			当期末残高
		収益(A)	費用(B)	差引利益(A-B)	
旧株式会社コスマプラザ西根	-379万円	3億3,472万円	3億4,079万円	-607万円	4,781万円
旧株式会社安代産業振興公社	-337万円	1億3,721万円	1億3,706万円	15万円	592万円
旧株式会社松尾ふるさと振興公社	324万円	1億1,036万円	1億1,118万円	-82万円	-308万円
八幡平市産業振興株式会社（旧八幡平温泉開発株式会社）	121万円	2億6,790万円	2億1,996万円	4,794万円	5億2,333万円

* 金額は、1万円未満を四捨五入

* 八幡平市産業振興株式会社を除く3社の19年度実績は、平成20年2月29日までの11カ月の実績

* 八幡平市産業振興株式会社の19年度実績は、旧八幡平温泉開発株式会社の11カ月の実績と、新会社の3月の実績の合計で、エコワ株式会社へのトラウトガーデンの売却予定額9,380万円を含む



9月17日に行われた市小学校陸上競技大会

決算特別委員会

19年度歳出は総額169億円

歲入全般

答 問　入浴者が支払った入湯税を、徴収義務者が滞納するのにはあり得ないことだ。
滯納者の責任は重い。

問 安代地区以外の、コミニ
ール送信を試験実施し、そ
の後、消防団や住民へのメ
ール配信などを進めたい。
ユニティーバス運行予定は。

答 生活実態に即し、分割
は生活を維持できないよう
な場合の対応はどうか。
納付などで対応している。
繰り返し不履行の場合、強
制的な執行も出てくる。

はちまんたい 議会だより 平成20年10月 第13号 4

決算特別委員会

民 生 費



りんどう苑敬老会（9月12日）

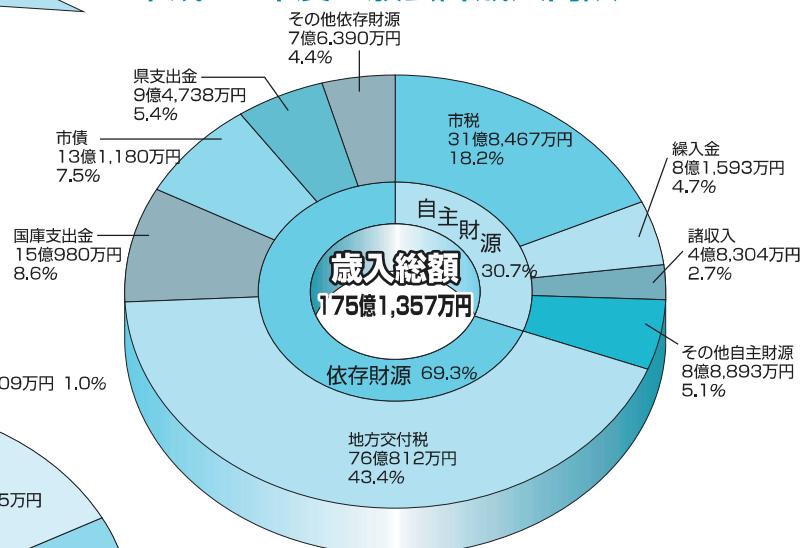
平成19年度 各会計の決算状況（金額は、1万円未満を四捨五入）

会計名		収入額	支出額
一般会計		175億1,357万円	169億5,290万円
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	36億3,895万円	35億3,696万円
	老人保健	32億6,176万円	32億6,176万円
	公共下水道事業	10億2,055万円	9億8,303万円
	農業集落排水事業	10億9,804万円	10億8,094万円
	浄化槽事業	7,477万円	6,717万円
	国民健康保険（診療施設勘定）	3億 532万円	2億9,205万円
企業会計	索道事業	4,536万円	4,261万円
	西根病院事業	収益的収支 5億6,712万円	6億9,755万円
		資本的収支 1億4,341万円	1,032万円
	水道事業	収益的収支 4億7,592万円	3億8,041万円
		資本的収支 3,740万円	1億1,314万円

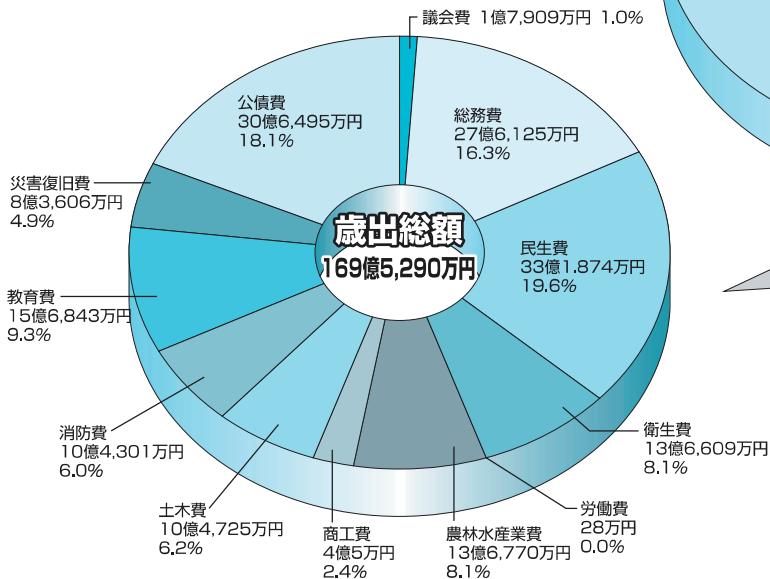
◎歳入のポイント

18年度と比べ、市税が2億1,587万円、地方交付税が1億5,582万円、国庫支出金が4億3,196万円、繰入金が3億8,641万円増え、地方債が2億6,750万円減少。総額では7億9,274万円増えました。（財政調整基金残高は14億5,443万円で5,763万円増加）

平成19年度一般会計歳入内訳



平成19年度一般会計歳出内訳



◎歳出のポイント

18年度決算と比較すると、災害復旧費が7億51万円、消防費が2億1,762万円、農林水産業費が1億9,221万円増え、民生費が1億5,578万円、教育費が5億4,273万円減少しました。（性質別では人件費が8,137万円、普通建設事業費が3億3,731万円減少、扶助費が3億295万円増加）

農 林 水 産 業 費

を助成するものである。
生活管理指導員派遣事
業の内容は。

65歳以上利用者に半額補助
しているが、利用促進策は。
定期的に宣伝し、利用
者増加に努めたい。

シルバー人材センター
運営事業の今後の考えは。
本年度中に法人化した
い。松尾、西根地区の業者
にもっとPRしていきたい。
多重債務相談の対応は。
市民課で相談窓口を設
け、盛岡市消費生活センタ
ーと連携し対応している。
福祉タクシー助成費の
内容は。

要支援や要介護に該当
しないが、日常生活に困難
な60歳以上の人人が対象で、
ヘルパー利用料金の10%を
負担していただく。18年度、
19年度ともに13人で、同じ
人が利用した。

圃場が協力し効率化を
図ることが大事だと思うが。
集落営農の理想であり、
土地集約と活用を進めたい。



商工費

問 第三セクターの経理体
答 別々だった経理手法の
マニュアル化を進めている。

問 三セクに管理委託の施
設を、市が補修する理由は。
答 市所有なので、市で負
担せざるを得ない。役割を
終えた施設は、廃止や民間
譲渡をしたい。

問 工場誘致予定の「かね
さ株式会社」の状況は。
答 平成22年3月まで工場
建設延期の契約変更をした。
建設の意向は変わらない。

土木費

問 第三セクターの経理体
制が不十分な原因は何か。
答 別々だった経理手法の
マニュアル化を進めている。

問 三セクに管理委託の施
設を、市が補修する理由は。
答 市所有なので、市で負
担せざるを得ない。役割を
終えた施設は、廃止や民間
譲渡をしたい。

問 団員数の少ない消防分
団もある。早く検討したい。

消防費

問 大更は市営住宅の入居
希望が多い。どう考えるか。
答 現状では空いた住宅の
募集という形で進めたい。

問 工場誘致予定の「かね
さ株式会社」の状況は。
答 平成22年3月まで工場
建設延期の契約変更をした。
建設の意向は変わらない。

特別会計全般

問 親が国保の保険証を受
け取れず、子どもが資格証
明書で医療を受けざるを得
ない実態をどう考えるか。

問 中学校卒業まで、保険
証発行が可能か検討したい。
問 国の医療費抑制策の中
で、在院日数の短縮の課題
にどう取り組むか。
答 収益確保の意味で、患
者の平均在院24日以内にな
るよう取り組んでいるが、
退院の強制はしていない。

教育費

問 学校給食に関する地産
地の取り組み状況は。

答 19年度は市内業者から
の購入が22%で、地元産は
約2・7%である。

問 小中高キャリア教育「地
域ぐるみ推進事業」とは。
答 働く事を考える目的で、
職場実習を行っている。

団の統合をどう考えるか。

答 消防力発揮が困難な分
団もある。早く検討したい。

問 遭難者捜索の経費は。

答 消防団員は市負担、ヘ
リコプターは県または広域
負担、山岳協会会員による
捜索隊は依頼者負担となる。

反対



米田 定男 議員

討論

反対
賛成

賛成



伊藤 直道 議員

依然として厳しい財政状況下、集中改革プランの着実な取り組みと重点施策の効率的な活用により、重要度の高い事業が計画的に実施されており、堅実な財政運営と評価する。協働のまちづくり事業や農業振興施策は積極的に展開され、複式学級支援など教育の充実は万全な体制で行われた。少年少女の詩「江間章子賞」は、児童・生徒の心の教育としても特に評価する。引き続き効率的な行財政改革に努め、質の高い行政サービスの推進と、市民の目線に立った市政を確立し、市民の負託に応える計画的な予算執行を期待し、賛成討論とする。